

壁取付金具

取扱説明書

工事説明付き

品番 WV-Q110

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	2
設置上のごお願い	5
各部のなまえ	6
設置のしかた	7
仕様	15



カメラは別売りです

このたびは、壁取付金具をお買いあげいただきまことにありがとうございました。

壁取付金具は、屋外ハウジング一体型カメラ（WV-CW860）を壁面に取り付けるときに使用する取付金具です。

本説明書では、屋外ハウジング一体型カメラ（WV-CW860）を「カメラ」と表記しています。

本製品は壁面専用の取付金具です。

カメラにサンシールドを取り付ける場合は、ご使用になるサンシールドの工事説明書をお読みください。

付属品をご確認ください

カメラ取付ねじ	4
ケーブルキャップ（穴あり）.....	1
ケーブルキャップ（穴なし）	1
取扱説明書（本書）	1
保証書.....	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 設置、移設、電源工事は必ず販売店に依頼してください。

工事は説明書をよく読んで行う



不適切な工事はけがの原因になります。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いが出るなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない



取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。

禁止

落下防止対策を施す



落下によるけがの原因となります。

- 専用の取付金具に、安全ワイヤーを必ず取り付けて使用してください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

可燃性雰囲気の中で使用しない



爆発し、けがの原因となります。

禁止

重量に耐える場所に取り付ける



取付場所の強度が不十分だと落下や転倒などでけがの原因となります。

- 総重量に耐える材質・構造の所に、水平に取り付ける。

定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

警告

落とさない、強い衝撃を与えない



禁止

けがや火災の原因となります。

高所に設置しない



16m以上の高所では思わぬ風速の影響を受け、落下などの事故の原因となります。

防雪対策を施す



積雪の多い地域では、雪の重みで落下してけがの原因となります。

- ひさなどで防雪してください。

ねじや固定機構はしっかりと締め付ける



締め付けが緩むと落下などでけがの原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

- コードの修理は販売店にご相談ください。

配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

ぶら下がらない、足場代わりにしない



落下などの事故の原因となります。

人や物がぶつからない高さに取り付ける



落下などの事故の原因となります。

配線は、電源を切ってから行う



感電の原因となります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。

振動のないところに設置する



取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因となります。

⚠ 注意

取付部分の強度を確認する



天井、床、壁など取付部の強度が不十分なとき、落下などでけがの原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

設置上のお願ひ

⚠ 警告

工事は必ず販売店に依頼してください。また、工事の際はブレーカーを切ってから行ってください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

取り扱いはいないに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

カメラの取付場所について

- 強度が十分ある天井（コンクリート天井や壁面など）に取り付けてください。また、強度は、カメラおよび取付金具、ボルト類の総重量を元に確認してください。
- 海上や海岸通り、腐食性ガスが発生する場所、可燃性雰囲気中等などの特殊環境の所には設置しないでください。
- プールなど、薬剤を使用する所には設置しないでください。
- カメラ本体部表面より放熱をさせていません。壁などに囲まれ、熱がこもる場所に設置するときは、通風穴を設けてください。

- 周囲温度-30 ~ +50、湿度は90%以下の場所に設置してください。

ただし、常時通電状態でカメラ内部温度が-10 以上であること

- 振動の多い場所には設置しないでください。また、カメラは車載用ではありません。車輛や船舶などには設置しないでください。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。カメラ内部に熱がこもり故障の原因となります。直射日光が当たり、周囲温度が40 以上になる場所に設置するときは、カメラに別売りのサンシールド（WV-7176）を取り付けてください。

設置手順・設置方法について

- 設置工事を始める前に、落下防止を施してください。設置する際は落下を防止するため、カメラの安全ワイヤーを取付金具または、アンカーボルトに取り付けてから行ってください。
- カメラは吊り下げ専用です。カメラは水平（ドーム下向き）に取り付けてください。上下逆に取り付けるとカメラ内部に水が入り、故障の原因となります。
- 湿度に注意してください。カメラは密閉構造のため、湿度の高いときにカメラを設置すると、内部に湿気がたまりドームカバー内が曇ることがあります。湿度の低いときに設置してください。

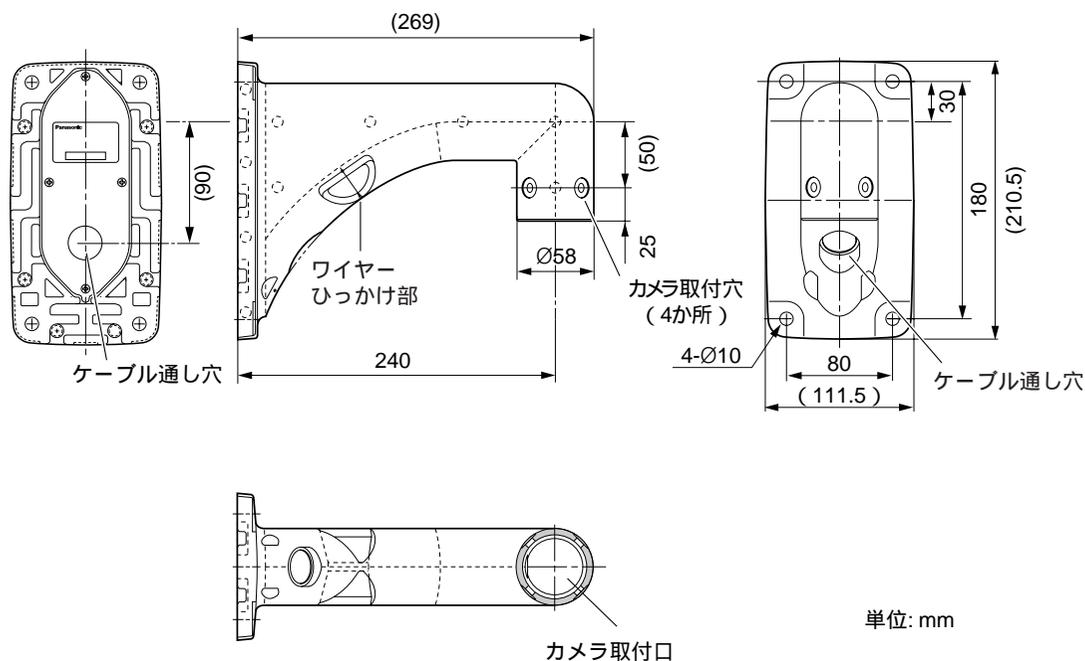
電源の接続について

カメラの電源が入/切できるように電源工事をしてください。本機には電源スイッチがありません。カメラの電源を入/切できるように、電源工事を行ってください。

工事の際に知っておいていただきたいこと

- カメラは、電源投入時にセルフクリーニング機能（PAN/TILT/ZOOM/FOCUS動作）が働きます。
- 機器の組み合わせは制限があります。定格、外観寸法をよく確認してから接続してください。詳しくは、「Panasonic CCTVシステム 総合カタログ」を参照するか、販売店にご相談ください。

各部の名前



設置のしかた

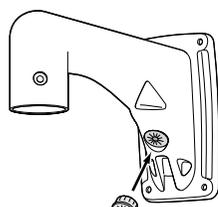
⚠ 警告

- ・ 取り付け場所の強度を確認してください。取り付け場所の強度が不足していると、落下などでけがの原因となります。(取付ボルトは付属していません)
- ・ 工事の際はブレーカーを切ってから行なってください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。
- ・ 取り付け完了後、まし締めを行い、取付部がゆるみがないことを再度確認してください。
- ・ 本機の電源工事には電気工事主任の資格が必要です。

ケーブル通し穴からケーブルを通す場合



- 1 取付位置を決めます。
取付ねじ(4本)用の穴をマーキングし、壁に穴をあけます。ねじ穴の寸法は「各部の名前」(6ページ)をお読みください。

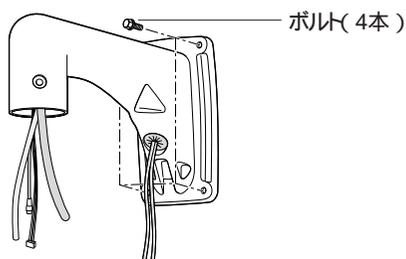


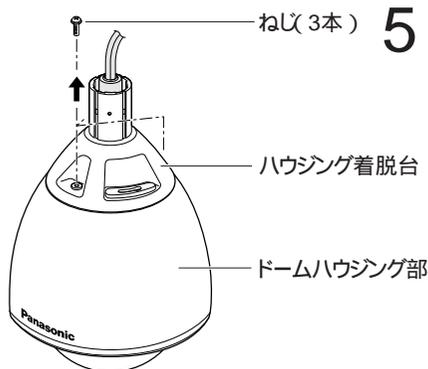
- 2 正面のケーブル通し穴に付属のキャップ(穴あり)を付けます。

キャップ(穴あり)

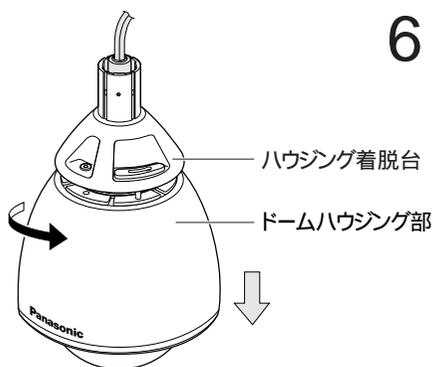
- 3 ケーブル通し穴に各ケーブルを通します。

- 4 ボルト4本(現地調達)で壁取付金具を壁面に取り付けます。

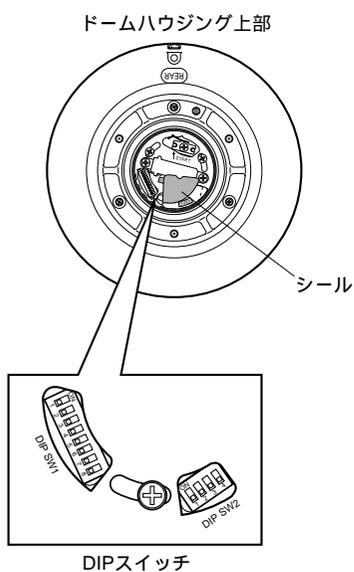




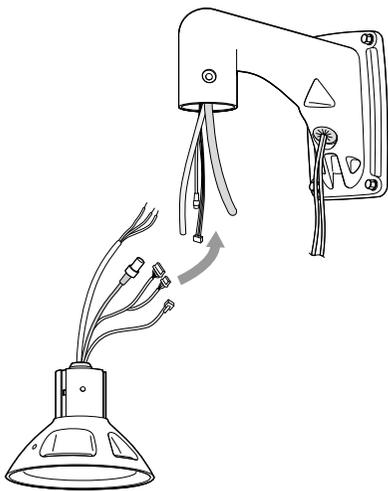
5 カメラ本体のハウジング着脱台とドームハウジング部を固定してるねじ3本を外します。
取り外したねじは取り付け時に必要です。紛失しないよう注意してください。



6 ドームハウジング部を反時計方向に回して、ハウジング着脱台と分離します。



7 ドームハウジング上部にあるシールをはがし、DIPスイッチで通信方式とユニットアドレスを設定します。
DIPスイッチの設定のしかたは屋外ハウジング一体型カメラ (CW-860) の取扱説明書をお読みください。
設定したら、シールを元の位置にはり直します。
通信方式 : SW2で設定します。
ユニットアドレス : SW1で設定します。



8 映像ケーブル、電源ケーブルなどのケーブル類を接続します。

9 ケーブルを接続したら、接続箇所をシーリングします。

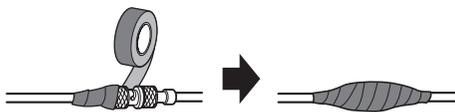
電源ケーブル



ケーブルごとに絶縁テープで絶縁する。

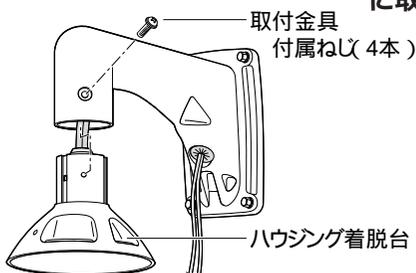
ケーブルの透き間から水が入らないように、プチルテープなどでしっかりとシーリングする。

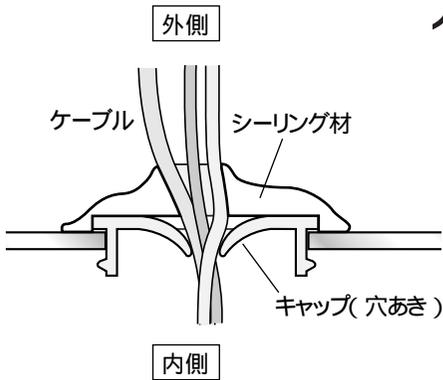
映像ケーブル



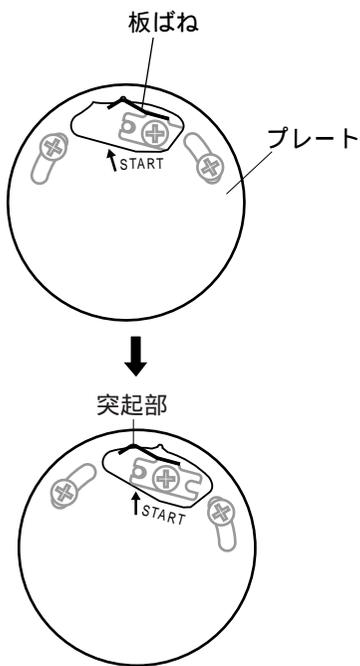
アラーム入力・出力、RS485ケーブルも同様にシーリングしてください。
接続しないケーブルも同様にシーリングしてください。

10 ハウジング着脱台を取付金具付属のねじ4本で取付金具に取り付けます。

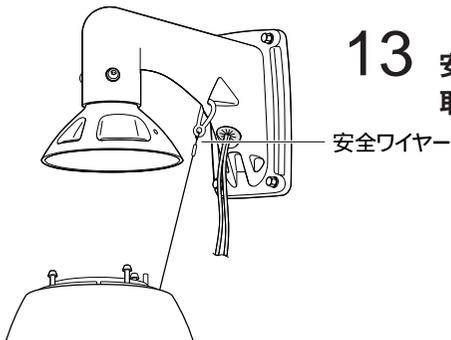




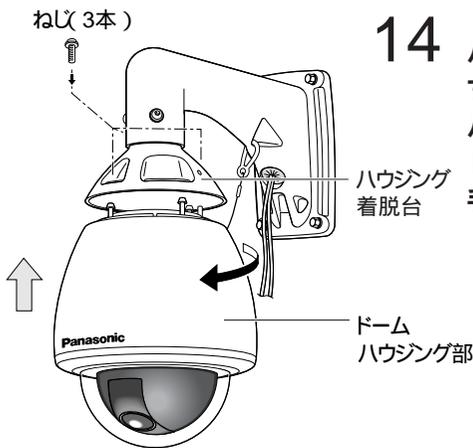
11 ケーブル通し穴をシーリングします。



12 ドームハウジング上部にある板バネの突起部がSTARTの位置にあるか確認してください。STARTの位置になるときは、プレートを時計方向に回し、突起部をSTARTの位置に合わせてください。

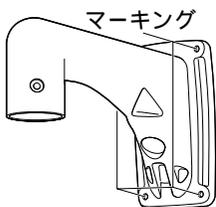


13 安全ワイヤー（本機付属）を図のように、取付金具に取り付けます。

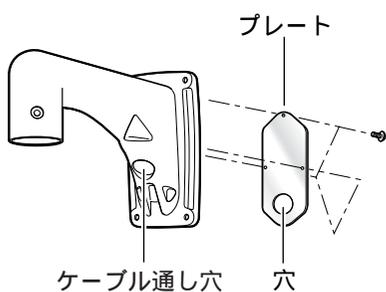


- 14** ハウジング着脱台にドームハウジング部を取り付けます。
 ハウジング着脱台にドームハウジング部を取り付け後、ドームハウジング部を時計方向に回します。その後、手順7で外したねじでしっかりと締め付けてください。

壁に穴をあけてケーブルを通す場合



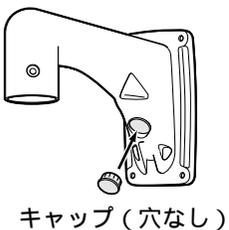
- 1** 取付位置を決めます。
 取付ねじ(4本)用の穴をマーキングし、壁に穴をあけます。ねじ穴の寸法は「各部の名前」(6ページ)をお読みください。



- 2** 壁取付金具の後面にあるプレートを外し、イラストのようにプレートに穴を開けます。

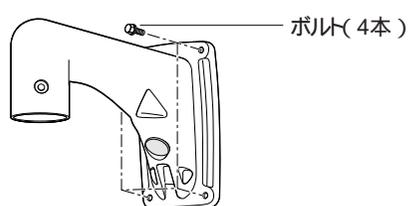
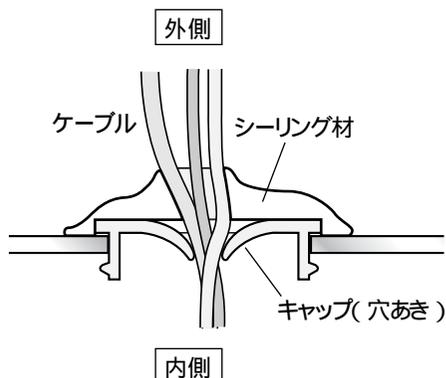


- 3** 付属のキャップ(穴あり)をプレートの穴に取り付けます。
 正面のケーブル通し穴には、付属のキャップ(穴なし)を取り付けます。

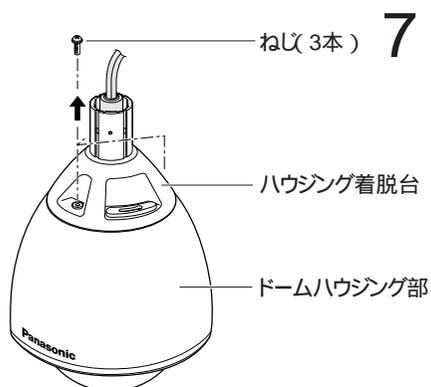


- 4** 各ケーブルを通します。

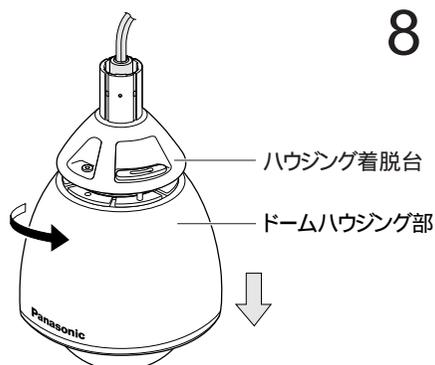
5 ケーブルを通した所をシーリングします。



6 ボルト4本(現地調達)で壁取付金具を壁面に取り付けます。

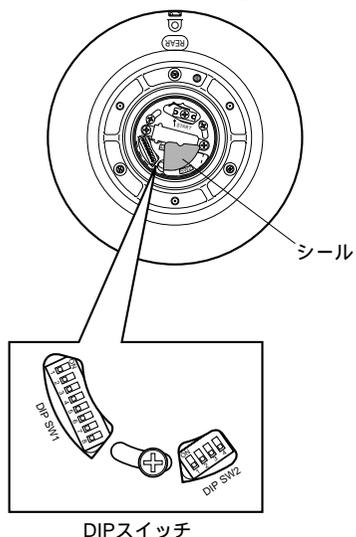


7 カメラ本体のハウジング着脱台とドームハウジング部を固定してるねじ3本を外します。取り外したねじは取り付け時に必要です。紛失しないよう注意してください。

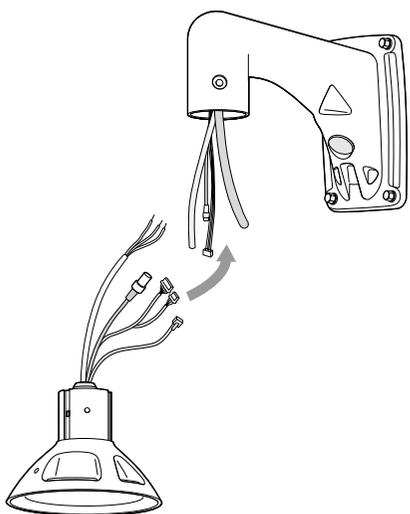


8 ドームハウジング部を反時計方向に回して、ハウジング着脱台と分離します。

ドームハウジング上部

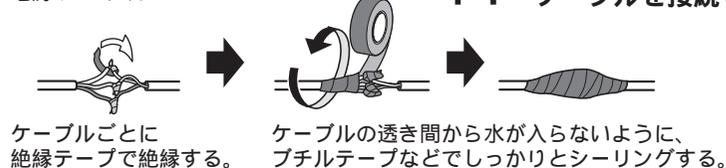


- 9** ドームハウジング上部にあるシールをはがし、DIPスイッチで通信方式とユニットアドレスを設定します。DIPスイッチの設定のしかたは屋外ハウジング一体型カメラ(CW-860)の取扱説明書をお読みください。設定したら、シールを元の位置にはり直します。
- 通信方式 : SW2で設定します。
ユニットアドレス : SW1で設定します。

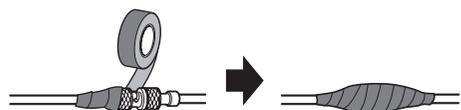


- 10** 映像ケーブル、電源ケーブルなどのケーブル類を接続します。

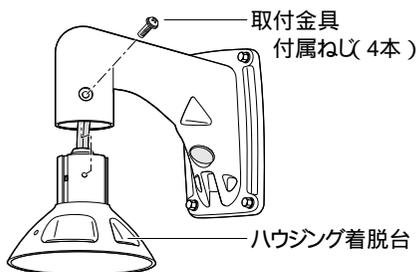
電源ケーブル



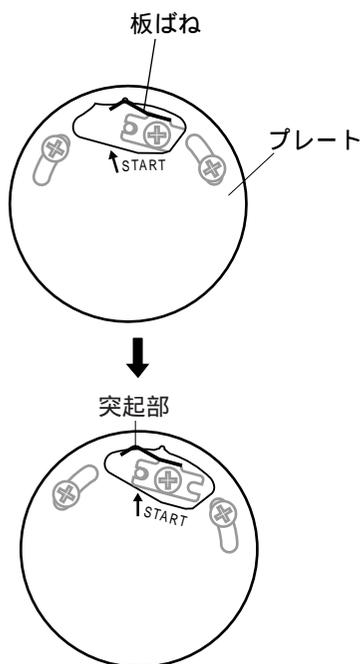
映像ケーブル



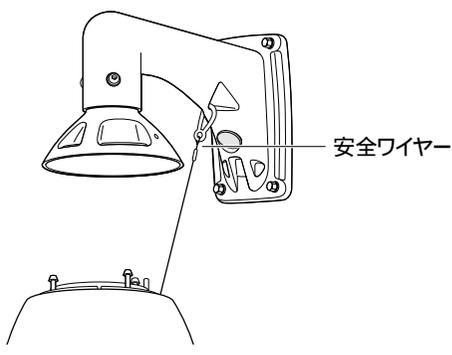
アラーム入力・出力、RS485ケーブルも同様にシーリングしてください。接続しないケーブルも同様にシーリングしてください。



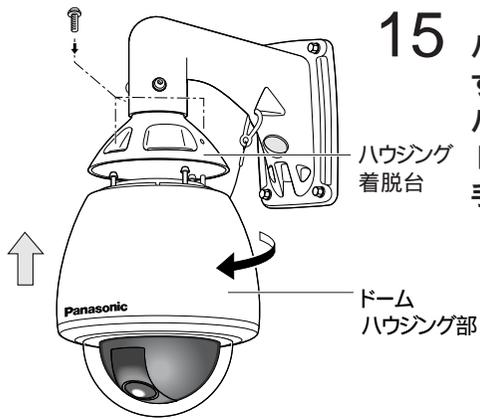
12 ハウジング着脱台を取付金具付属のねじ4本で取付金具に取り付けます。



13 ドームハウジング上部にある板バネの突起部がSTARTの位置にあるか確認してください。STARTの位置にならないときは、プレートを時計方向に回し、突起部をSTARTの位置に合わせてください。



14 安全ワイヤー（本機付属）を図のように、取付金具に取り付けます。



15 ハウジング着脱台にドームハウジング部を取り付けます。
ハウジング着脱台にドームハウジング部を取り付け後、ドームハウジング部を時計方向に回します。その後、手順7で外したねじでしっかりと締め付けてください。

仕様

寸法 幅 111.5 mm × 高さ 210.5 mm × 奥行き 269 mm

質量 約2 kg

仕上げ メラミン焼付塗装 (マンセル5.5Y7.5/0.3近似色)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあとは保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、この壁取付金具の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日
品 番	WV-Q110
販 売 店 名	
	☎ () -

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

NM0102-0 V8QA5986AN